



執行役常務
自動車部品事業本部長
山下 祐行

自動車部材

2018中期経営計画基本方針

グローバルトップサプライヤーになるための 基盤強化

S (強み)

- ・材料の配合技術を駆使した提案力
- ・材料特性に関する豊富な研究データ
- ・お客様のグローバル化に対応した生産体制

W (弱み)

- ・新製品の市場投入不足
- ・欧州市場への参入遅れ
- ・欧米市場進出に向けた人材不足

O (機会)

- ・自動車の電動化、小型化
- ・自動車における熱マネジメント(燃費向上、有害物質低減)
- ・環境適合性と低燃費化への消費者ニーズ

T (脅威)

- ・メガサプライヤーの台頭による市場の寡占化
- ・カーシェアリングなどによる販売台数の減少

2018中期経営計画の実績と戦略

| 2016年度振り返り | 2017年度施策 | 2018あるべき姿 | 10年戦略のゴール |
|---|--------------------------------|---|---------------------------------|
| グローバル・トップレベルの環境対応製品戦略 | | | グローバルトップ3の サプライヤーになる |
| 樹脂成形品 ・新規案件の立ち上げ | ・欧州市場への本格参入に向け信頼性評価を加速 | ・事業拡大に向け、ニッチ&クラスター戦略を進め、競争優位を維持する仕組みができています ・新規顧客開拓を進め、顧客数が増加している ・アライアンス先での生産が開始している | |
| 摩擦材 ・銅フリーディスクブレーキパッド市場投入、北米市場での受注獲得 | ・次世代車種への適用拡大 | | |
| 粉末冶金製品 ・ターボチャージャー用部品のグローバルでの受注拡大 | ・タイにデザインセンタ開設 ・高付加価値製品の売上拡大 | | |
| 営業・開発・製造拠点をグローバルで拡充 | | | |
| M&A ・材料技術シナジーの探索 | ・イゾライト社の連結子会社化 | | |

M&A・アライアンス戦略

自動車部材事業は「材料技術を基軸とした新事業の創出」「新たな地域進出に向けた欧州での開発・生産拠点の整備」に重点をおき、外部から技術や事業基盤を獲得していきます。

ROIC (2016年度)

7.0%

(2018年度目標:10%)

自動車部材事業は、営業利益率の改善を当面の重要課題としています。

2016年度の振り返り

「グローバルトップサプライヤーになるための基盤強化」をスローガンに諸施策に取り組みました。イタリアのFET社を連結子会社化し初めて欧州市場に拠点を獲得したほか、タイに粉末冶金製品のデザインセンタを開設しました。また、2017年4月には、ドイツの断熱部品メーカーであるイゾライト社の株式を取得する契約を締結しました。

製品戦略では、エンジンのダウンサイジングに貢献するターボチャージャー用部品の受注がグローバルで拡大しました。新製品では、日立化成独自の技術で開発した軽量化と強度を兼ね備えた新しい樹脂成形品が日本の自動車メーカーで採用されたほか、米国で2021年から始まる銅含有率の規制に適合したディスクブレーキパッドが米国自動車メーカーに採用されました。

FET社とイゾライト社を連結子会社化

| FET社 | |
|------|-----------------------------------|
| 社名 | FIAMM Energy Technology S.p.A. |
| 所在地 | イタリア ヴェネト州 ヴィチェンツァ モンテッキオ・マッジョーレ |
| 事業内容 | 自動車用および産業用鉛蓄電池の製造、販売 |
| 目的 | ・自動車用・産業用鉛蓄電池の製造拠点獲得 ・欧米他の販路拡充 |
| 強み | ・欧州を中心にグローバル販売網保有 |

| イゾライト社 | |
|--------|---|
| 社名 | ISOLITE GmbH |
| 所在地 | ドイツ ラインラント=プファルツ州 ルートヴィヒスハーフェン |
| 事業内容 | 自動車・航空機・産業用途の断熱部品の製造、販売 |
| 目的 | ・イゾライト社断熱部品の日本での拡販 ・欧米他の販路拡充 |
| 強み | ・イゾライト社が独自の材料技術で開発した「 <u>ダイレクト・インシュレーション製品</u> 」 ・欧州での販売網や製造拠点 |



詳細は日立化成ウェブサイト▶日立化成について▶ニュースリリースよりご覧いただけます。

2016年11月28日 イタリア共和国 FIAMM Energy Technology S.p.A. の株式取得に関するお知らせ

2017年4月27日 ドイツの断熱部品メーカー、ISOLITE GmbHの株式取得に関するお知らせ

ダイレクト・インシュレーション製品

エンジンなどの自動車の高熱部分に密着させ、熱を遮断する製品です。「ダイレクト・インシュレーション製品」を用いると、高熱部品と密着させずに遮熱板を設ける従来の方法より高い断熱効果を発揮し、また少ないスペースでの断熱が可能となります。

代表的な製品

ディスクブレーキパッド

金属と樹脂の材料配合の最適化と、摩擦現象のシミュレーション解析により、高い制動性を確保しつつ、ブレーキの鳴き(ノイズ)を抑えた理想的なブレーキ開発に取り組んでいます。環境負荷低減のための銅レスパッドも開発しています。



粉末冶金製品

粉末冶金製品は、鉄や銅などの金属粉末をプレス機で加圧成形し、溶融点以下の温度で焼結したものです。高精度、高耐摩耗性、高耐熱性など多くの長を備えており、エンジン部品や産業機器などに幅広く活用されています。



外装樹脂発泡成形品

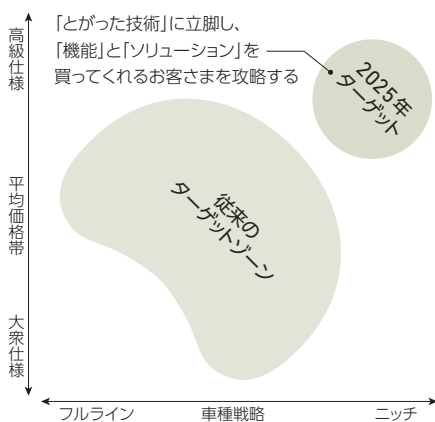
自動車の外装樹脂部品の内部をスポンジ状に発泡させることで軽量化し、低燃費に貢献できます。

2017年度の重点施策

グローバル・トップレベルの環境対応

軽量化、エンジンのダウンサイジング、汚染物質排出規制および熱排出コントロールなど、自動車に対する環境対応は、ますます重要視されることが見込まれます。日立化成は樹脂成形品、粉末冶金、摩擦材の分野で幅広い環境対応製品群を擁しており、これらの販売拡大に注力します。また、イゾライト社の連結子会社化によって、熱マネジメント分野で自動車メーカーへさまざまな提案をすることができるようになりました。当社技術とのシナジー創出に注力していきます。

2025年の欧州ターゲット



営業・設計・製造拠点をグローバルに拡充

タイのデザインセンタと日本との連携によりASEAN仕様の車種設計の効率化とスピードアップを図り、受注拡大に努めます。またM&Aで獲得した拠点において一部製品の現地生産化を検討するほか、イゾライト社との連携により今後ますます重要視される自動車関係の熱マネジメントに関する新事業進出への布石を打ちます。日本では、取り扱い製品の枠を超えた営業部門の連携を強化させることにより、新規受注獲得を進めていきます。

製品事例 外装樹脂発泡成形品

日立化成は、コアコンピタンス(基盤技術)を駆使して、自動車の軽量化に貢献できる新しい製品の開発を進めています。これまでバックドアを樹脂化し、軽さだけでなくデザインの自由度の高さでも高い評価をいただいています。2016年度は、独自に開発した樹脂発泡成形技術によって剛性と軽さを兼ね備えた外装樹脂成形品の開発に成功しました。この新しい技術を武器にグローバル展開にも注力していきます。

